

第19回東京科学シンポジウム分科会

「リニア中央新幹線問題の 検討と運動・経験交流会」

リニア新幹線、 見切り発車は日本を壊す

環境問題、水資源問題、残土処分、工事の安全、騒音、振動、微気圧波、磁界、消費電力……。今、「そのけ、そのけリニアが通る」とばかり JR 東海によるリニア工事が強行着工されている。問題を先送りして、長大なトンネルが掘られれば、不可逆的な自然破壊が進み、将来世代に負の遺産を遺すことになる。

12月10日(日)

10:00~12:15

中央大学多摩キャンパス

第19回東京科学者シンポジウム

「理性と希望の平和な時代を拓く」

～反知性主義・分断・不公正とたたかう

12月9日(土)~10日(日)

中央大学多摩キャンパス

9日は、栗田禎子さん、浦田一郎さんの講演

10日はリニア問題など23の分科会(裏面)

参加費=一般2,000円、院生・学生1,000円

(資料代込み、2日間共通)



中央大学多摩キャンパス アクセス

★ 多摩モノレール

「中央大学・明星大学駅」下車徒歩1分

★ 京王線「多摩動物公園駅」下車10分

第19回東京科学シンポジウム スケジュール

12月 9日(土) 13:00～17:00

講演① 世界史の中の「いま」を生きるー

中東・世界・日本のゆくえと「平和憲法革命」の課題

栗田禎子(千葉大学大学院人文科学研究所教授、歴史学・中東研究)

講演② 自衛隊加憲論と政府解釈ー平和で公正な社会を考える

浦田一郎(一橋大学名誉教授、憲法学)

12月10日(日) 10:00～12:15

分科会: 発表と討論(23分科会)

■国連への権利宣言とわたしたち■リニア新幹線問題の検討と運動・経験交流■原発問題を考える文学サロン■院生・若手小さな冬の学校■パリ協定とエネルギー基本計画■首都圏の防災・減災を考える■「復興」を考える■核兵器禁止条約の意義と今後の課題ー市民社会の役割に焦点をあてて■次世代につなぐ平和と女性研究者・技術者■科学・技術の現状批判ー日本の科学技術の健全な発展のための課題■軍学共同への抵抗の現段階とこれからー日本学術会議の新声明を受けて■「安保改憲」、その本質・波及追究と改憲阻止運動の課題■科学・技術サロンー日本の科学・技術の現状とロマンを語る■支部活動の拡大強化・活動活性化のためにー日本科学者会議50年の歴史から教訓を求めてー■サイバー空間の平和利用のために■IT技術と教育・労働・社会生活■暴走する安倍教育行政ストップ、憲法を基本にした教育再生を!■築地市場の豊洲移転・築地市場存続の意義と豊洲移転のデメリット■国民生活向上の経済運営はいかにあるべきか■非正規雇用問題を考える■暴走する大学「改革」の諸問題■若手活動の取り組みから考える支部活動ーJSA内外の交流をいっそう活性化へー■トランプ政権とアメリカ社会

12月10日(日) 第2分科会「リニア新幹線問題の検討と運動・経験交流」

10:00～10:20	リニア新幹線問題研究連絡委員会活動報告	長田好弘
10:20～10:40	リニア問題に対する市民の立場から三つの疑問	山川 元
10:40～11:00	リニア新幹線工事の早期中止を求める理由	天野捷一
11:00～11:05	休憩	
11:05～11:25	リニア新幹線の安全性と相模原での取り組み	中野渡 旬
11:25～11:45	磁界の健康影響問題の整理ー国の主張の矛盾	中野貞彦
11:45～12:05	ストップ・リニア!訴訟の争点、私たちの主張	関島保雄弁護士
12:05～12:15	まとめ	